
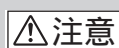


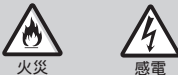
警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

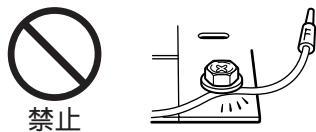
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

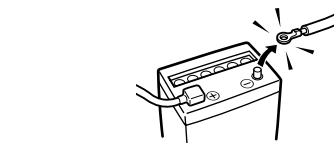
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



注意

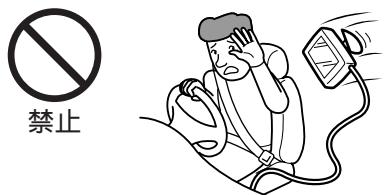
下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

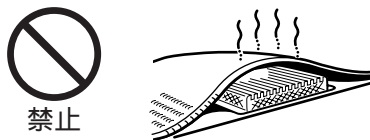
安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



本機の通風口や放熱板をふさがない

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



アンテナは車体からはみ出さないよう取り付ける

歩行者などに接触し、事故の原因となることがあります。




SONY®

FM文字多重放送 ディスプレイユニット

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。

 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。



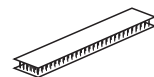
VICSは財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

FMX-88

Sony Corporation © 1997 Printed in Japan

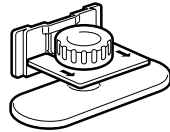
取り付け/接続部品(付属)

①



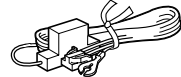
マジックテープ
×1

②



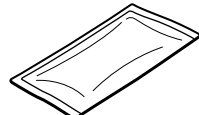
ディスプレイスタンド/
スペーサー×1

③



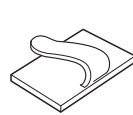
電源コード
×1

④



クリーニングクロス
×1

⑤



コードクランパー
×3

Sony online <http://www.world.sony.com/>

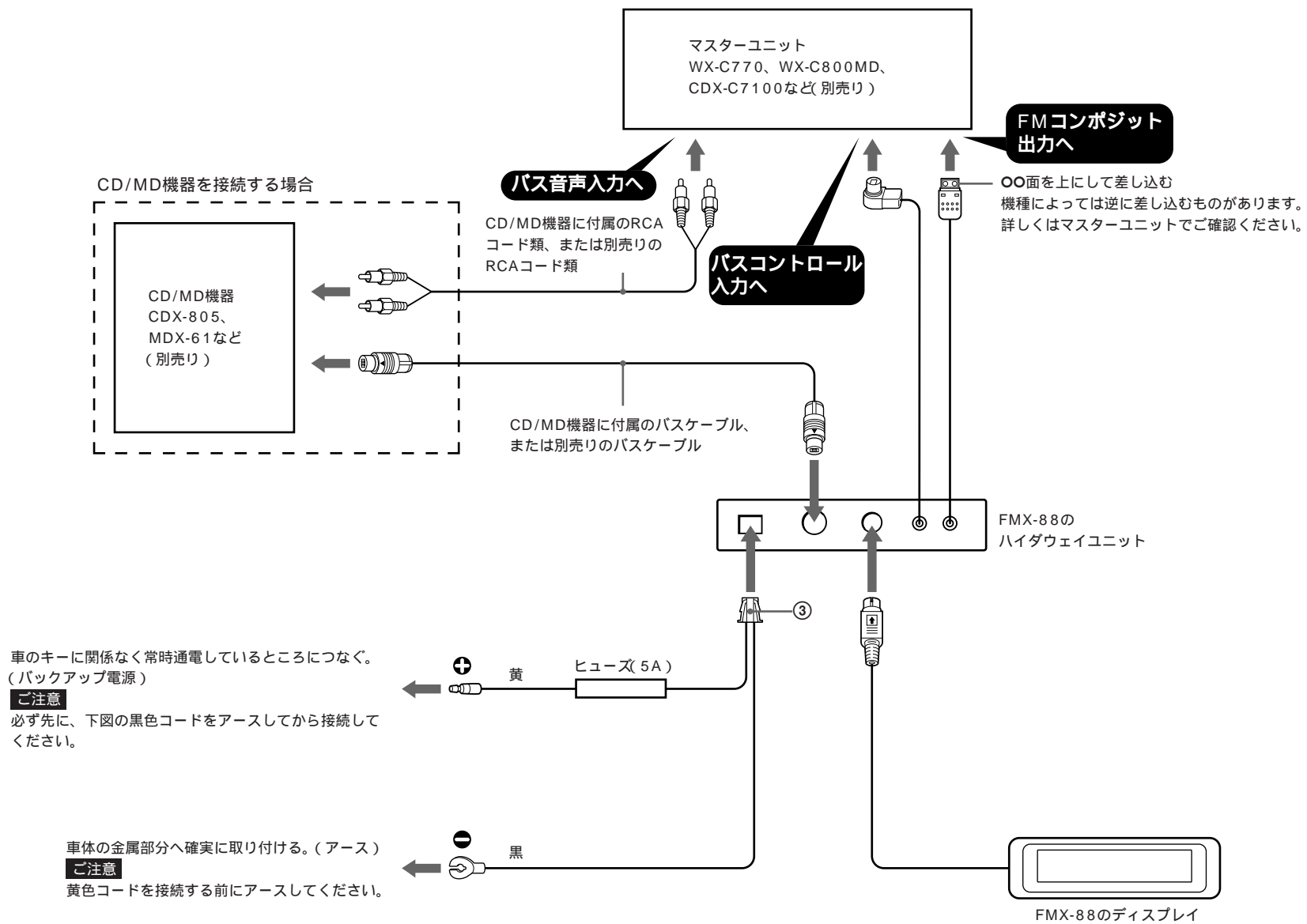
「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

*I-3-860-489-0(2)

接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。



ショート事故を防ぐために

本機の電源コード(上図の黄色コード)の接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の故障の原因になります。

万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けられている車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

電源コードの色分け

黄色コード	動作電源入力コード。 車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところにつなぎます。イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード。 車体の金属部分に確実にアースしてください。

ヒューズ

- 電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。
- 電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側(純正ラジオ用バックアップ電源)のヒューズ容量以下であることを確認してください。また、アンプなどを接続したシステムで使用する場合は、総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合はバッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じた時、車両のヒューズが先に切れ、車両の機器が機能しくなります。

取り付け

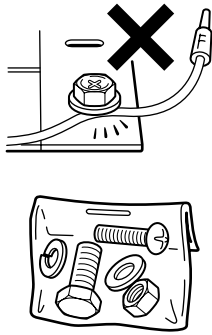
12ボルト車専用

本機は12ボルトのマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24ボルト車では使えません。

ビス・ナット類

必ず付属のビス類をお使いください。

- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- はずしたビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- はずすビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。

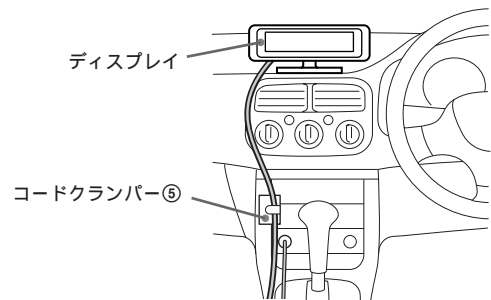


取り付けと接続が終わったら

コードの処理について

取り付けと接続が終わったら、コードは運転の邪魔にならないようにまとめてください。コードがシフトレバーなどにかかると、非常に危険です。

助手席側にコードクランパー⑤で固定してください。



ご注意

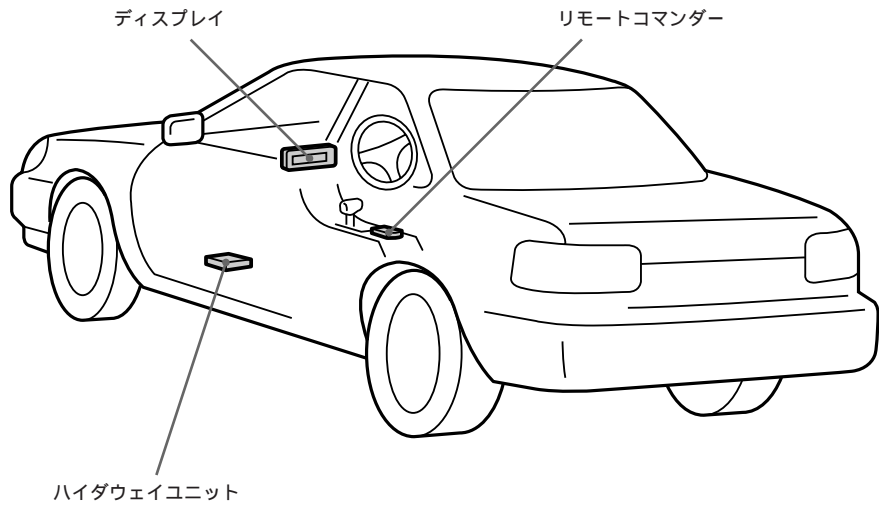
- ドアやシート下のレールにコードがかからないようにしてください。コードがはさまって断線してしまうおそれがあります。
- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカーなど、すべての電装品が正しく動作することを確認してください。

取り付け場所

- 次のような場所に取り付けしないでください。
 - 運転の妨げになる所
 - 同乗者の安全を損なう所
 - グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
 - 触媒装置の上など高温になる所

- ほこりの多い所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

取り付け例

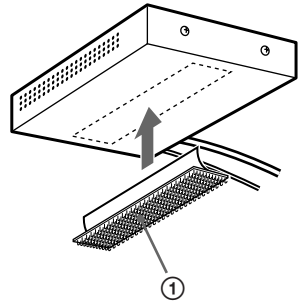


ご注意

長時間停車する場合には、ディスプレイに直射日光が当たらないように、おおいをかぶせるなどしてください。

ハイダウェイユニットの取り付け

マジックテープを貼り付ける場所をきれいにし、①でシート下などのフロアカーペットに取り付けます。



ディスプレイの取り付けのご注意

FMX-88のディスプレイは、安全性を重視して設計されています。

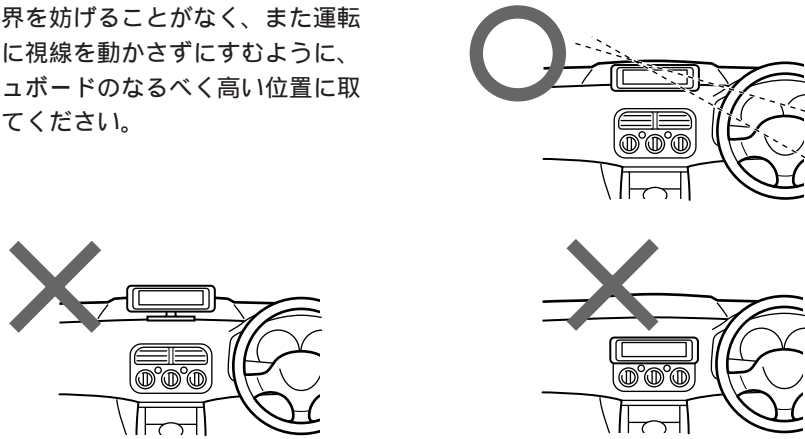
しかし、正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。

取り付ける前に、必ず下記事項の確認を行ってください。

助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。

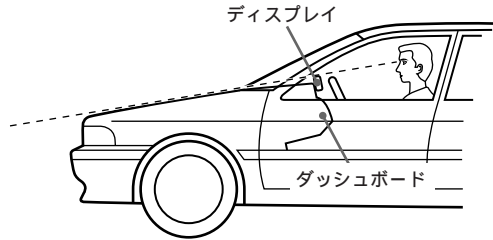
取り付け位置

前方視界を妨げることがなく、また運転中極端に視線を動かさずにすむように、ダッシュボードのなるべく高い位置に取り付けてください。



取り付け位置のポイント

- 運転者から見たときに、ディスプレイがボンネットの先端よりも上に出ない。
- 極端に視線を下げる位置に設定しない。



ご注意

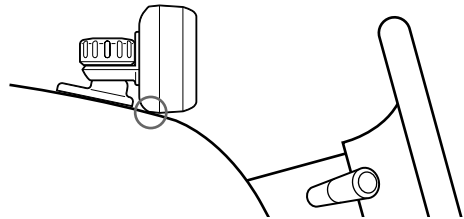
ディスプレイ取り付け時に、フロントガラスへのディスプレイ画面の映り込みが視界の妨げにならないことを確認してください。

取り付け例

車の振動などによるぐらつきを防止するため、ディスプレイの底面または背面がダッシュボードに接触するように取り付けてください。

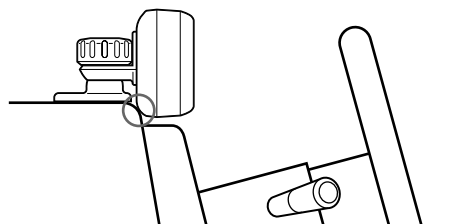
ダッシュボードが曲面の場合

ディスプレイ底面をダッシュボードにあてて固定する。



ダッシュボードが平面の場合

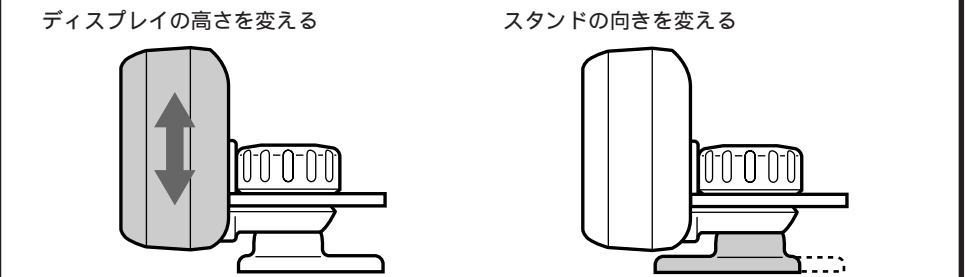
ディスプレイ背面をダッシュボードにあてて固定する。



ディスプレイの取り付け

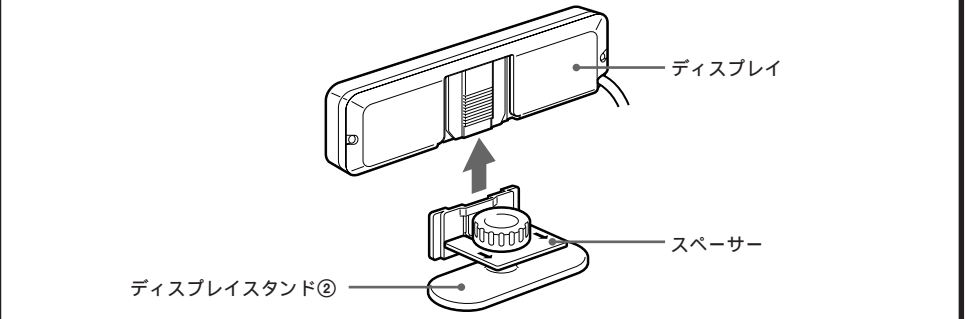
「ディスプレイの取り付けのご注意」の項目をご覧くださいのうえ、設置しようとする場所で正しい取り付けができることを確認してから取り付けを行ってください。

ディスプレイに差し込む高さを変えたり、スタンドの向きを変えることで、色々な場所に取り付けられるようになっています。



ご注意
ディスプレイスタンド底面の両面テープは強力な粘着力がありますので、あらかじめ設置場所を決定してから取り付けを行ってください。また、運転の妨げにならない見やすい位置に取り付けてください。

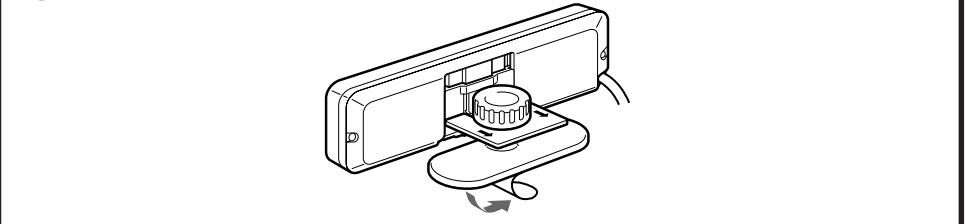
1 スペースをはさんだままのディスプレイスタンド②をディスプレイに差し込む。



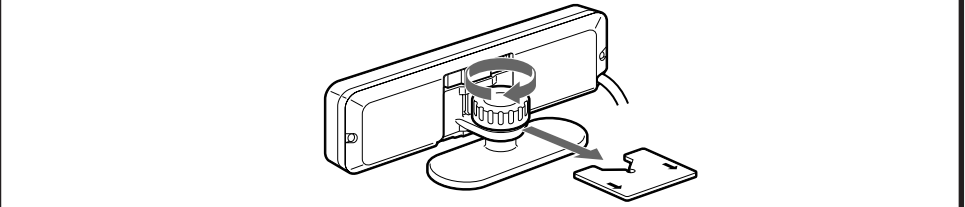
ご注意
設定場所および取り付け角度を決定するまでスペーサーを外さないでください。

2 クリーニングクロス④で取り付け面の汚れを取る。

3 両面テープをはがして取り付ける。



4 取り付け角度を見やすい位置に調整し、スペーサーを外してからノブを締め込む。



ご注意
スペーサーは紛失しないように保管してください。